



令和元年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 東京ボード工業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 井上 弘之
(コード：7815 東証第二部)
問 合 せ 先 取締役経営管理部長 大矢宣之
(TEL：03-3522-4138)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、令和元年5月13日に公表いたしました業績予想を、下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

令和2年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 13,350	百万円 701	百万円 552	百万円 294	円 銭 114.83
今回修正予想(B)	10,022	△1,894	△1,770	76	29.66
増減額(B-A)	△3,328	△2,595	△2,322	△218	
増減率(%)	△24.9	—	—	△74.1	
(ご参考)前期実績 (平成31年3月 期)	6,717	△2,719	△2,821	95	37.35

令和2年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 11,495	百万円 110	百万円 119	円 銭 46.54
今回修正予想(B)	8,802	△2,137	△1,234	△481.58
増減額(B－A)	△2,693	△2,247	△1,353	
増減率(%)	△13.5	－	－	
(ご参考)前期実績 (平成31年3月期)	5,258	△3,143	△48	△18.81

修正の理由

令和2年3月期の業績予想につきましては、佐倉工場と新木場リサイクリング工場の安定生産を前提としております。佐倉工場におきましては、追加設備投資の必要から新商品「壁武者」の生産が当初予定より遅れ、設備投資実施後、本年7月度よりフル生産体制は整いましたが、当初からの生産・販売計画達成が未達となり、売上高が前回予想を下回る見込みであります。このように、売上高が当初予想比減収となるため、利益面においても、各段階利益におきまして当初予想を下回る見通しであります。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、固定資産譲渡等による特別利益による見込みであります。

以上のことから、連結及び個別業績予想の修正をおこなうものであります。

なお、今後におきましては、佐倉工場の本格稼働の遅れに起因する販売計画未達分の資金が必要となるため、売上増をめざすべく営業活動を強化する他、追加の資金調達や資金繰りの安定化に努めるべく取引金融機関等と協議を進めております。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上